

（学年）第2学年、（教科・科目）保健体育科・保健

個別学習

（単元）生涯を通じる健康（医療サービスとその活用）

（本時のねらい）

- ①様々な医療サービスがあることを理解し、その仕組みについて理解しようとしている。
（知識・理解）
- ②医療サービスについての自分の意見を言語化できる。（思考・判断・表現）
- ③自分を含め周りの人間が怪我や病気になったとき適切な病院を選択することができる。
（知識・理解）

（ICT活用方法）

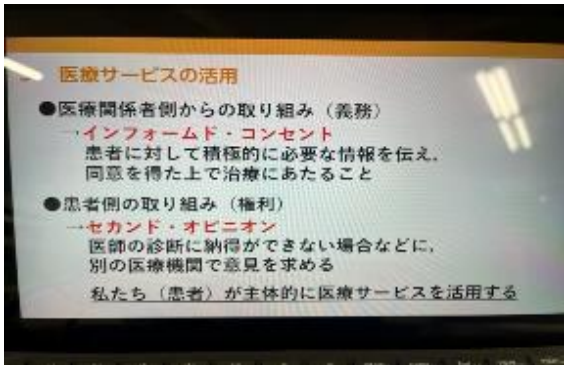
一人一台端末と電子黒板を活用し各個人の意見を集約する。全体で共有することで理解を深めさせて様々な考え方があることを生徒に伝えたい。具体的には授業支援クラウドアプリを活用し、各個人の意見を電子黒板に投影する。従来は口頭で発表していたが、電子黒板にすべての意見を集約させることで医療サービスの活用について理解を深める。

（本時の展開）

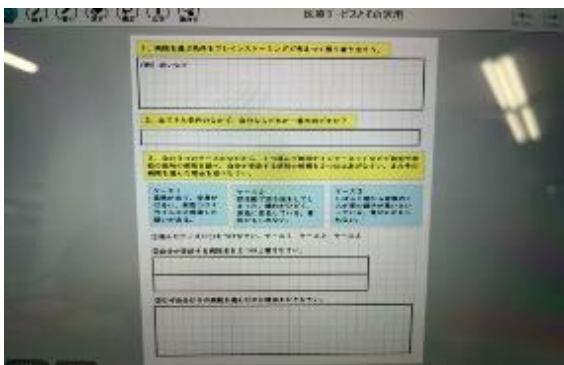
時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関にはどのようなものがあるか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の自宅周辺にどんな医療機関があるか考えさせ、何人かに質問し発表させる。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険の仕組みについて理解する。 臓器移植について考える。 インフォームド・コンセントとセカンドオピニオンについて理解する。 授業支援クラウドアプリで複数のケースから自分が受診する病院を選ぶ活動を行う。（インターネットや地図アプリを活用する。） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己負担する医療費はどのくらいあるか考えさせる。 臓器移植法の変遷や脳死と植物状態の違いなど理解させる。また、「臓器提供意思表示カード」への記入をするならどう記入するか発問する。 インフォームド・コンセントとセカンド・オピニオンとはどのような義務と権利なのか説明する。 自分が一番重要だと考える病院を選ぶ条件を明確にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトのスライドを活用し、視覚的視点から理解を深める。 プレゼンテーションソフトのスライドを活用し、視覚的視点から理解を深める。 プレゼンテーションソフトのスライドを活用し、視覚的視点から理解を深める。 授業支援クラウドアプリのワークシートを活用し、自分で調べる能力を養わせる。

	<ul style="list-style-type: none"> 各個人のワークシートを無作為に選び、全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業支援クラウドアプリの利点として名前を伏せて発表することを生徒に周知する。 	
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめを行い、次回は保健サービスについて学習することを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な医療サービスをうまく活用していくことで健康的な生活を送ることができることを理解させる。 	

(授業の様子)



プレゼンテーションソフトのスライド



授業支援クラウドアプリのワークシート



意見を打ち込む様子

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

プレゼンテーションソフトを活用することで生徒たちは視覚的に理解しやすく、記憶に定着しやすかったと感じた。スライド数を多く作成したため、今後は更に端的にまとめていければと思う。

授業支援クラウドアプリに関しては、1・2学期で使用していたこともありスムーズに操作ができていた。今後は授業支援クラウドアプリでグループワークを実施していきたいと感じた。